

芸術の香  
り高く



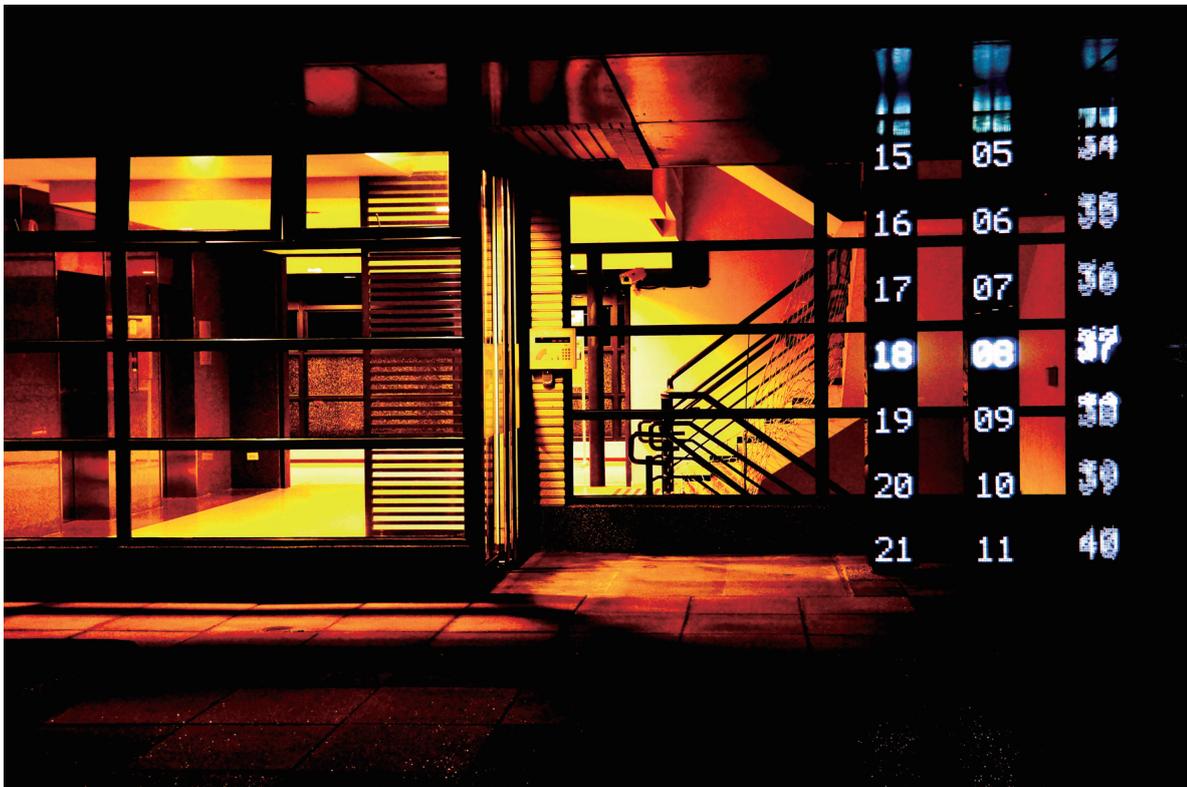
▲ユーモアあふれる「クロ」 (台南園區公共芸術)

## 2011 年南科芸術フェスティバル

11月26日から12月25日まで一ヶ月にわたって開かれる公共芸術フェスティバルは、南科が国内の科学園区では初めての試みとしてスタートした芸術イベントです。期間中は新たに21の公共芸術作品が設置されたほか、華やかな開幕式、ワークショップ(18回)、芸術教育講座(3回)、ステージ発表(3回)、ガイドツアー(40回)などが行われ、来場した園区従業員や地域住民のべ6000人に一味違う文化芸術体験をしてもらうことができました。また今回は、フェイスブック上に「2011 南科芸術季、我愛南科我的家」を立ち上げ、参加者が動画や写真を共有できるようにしました。

## 文化芸術地図サイト

南科の芸術文化について知ってもらえるよう、10月25日、南科のホームページ上に新たに「文化芸術地図」がアップされました。台南園区の文化芸術を市指定遺跡、公共芸術、地方文化、芸術的景観の四項目に分けて紹介したもので、誰でも南科の文化芸術の美しさに触れられるようになっています。



▲テクノロジーと時の流れを表現した「時間在這裡」 (台南園區公共芸術)



▲南科文化芸術地区

### 南科新港堂 文化とテクノロジーの結合

台南園区西南側にある新港堂は、もともと台南園区開発以前に存在していた十あまりの小さな廟をまとめて安置するために作られたものですが、同時にまた建物の積極活用のため、1階部分には文化館を置き、2階が廟となっています。5月1日、重要な祭事や日常祭祀、文化館の展示など新港堂の運営が正式に新市区役所に委託されました。2011年には6500人が文化館の展示を見学するなど、新港堂は園区従業員や地域住民の心の拠り所となっているだけでなく、娯楽・レジャー



▲新港社在住の百十歳、孫江淮氏（左から二番目）による書が新港堂を訪れた頼清徳市長（右から二番目）に贈られる（2011.10.8）

や文化活動にも絶好の場を提供しているのです。



▲開廟五周年を迎えた台南園区新港堂で線香を上げる来賓一同（2011.9.16）